

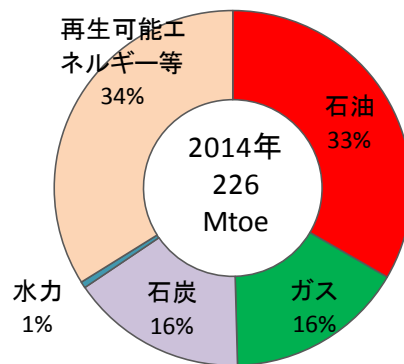
## 1-7 インドネシア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 226 百万 toe (日本の 0.51 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.89toe (日本の 0.25 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 203%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 436.5 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 36.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 1.72CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 18.3%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 石油 12.0 年、天然ガス 37.8 年、石炭 71 年

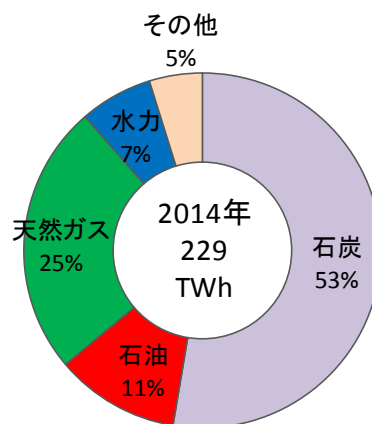
一次エネルギー供給構成 (2014 年)



Country: Indonesia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



Country: Indonesia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策の策定・実行は、「国家エネルギー審議会 (DEN:Dewan Energi Nasional)」が行っている。エネルギー行政は、エネルギー鉱物資源省 (Ministry of Energy and Mineral Resources : ESDM) が所管している。

### (2) 基本政策

- 国家エネルギー政策 (KEN : Kebijakan Energi Nasional) では、石油依存度の低減や、再生可能エネルギーの利用最大化のほか、石炭を信頼できる国産エネルギーとして位置付け、発電・産業部門向けに利用していく方針が示されている。
- 2015年1月、国家開発庁は国家中期開発計画 (RPJMN) を発表し、2015年から2019年までの5年間で新たに35GWの発電所を新設するとした。2016年2月には電源開発計画の円滑化を目的とする大統領令「2016年第4号」が発表されたほか、同年5月には国営電力 PLN と民間セクターの電源建設枠変更が行われるなど、計画の着実な推進へ向けた支援が進められている。

### (3) 最近の動向

- 2016年3月、Joko 大統領は Abadi LNG プロジェクトの陸上建設方針を決定した。
- 2016年7月の内閣改造で Arcandra Tahar 氏がエネルギー鉱物資源相に就任したが、翌8月に二重国籍の問題から解任された。Luhut Pandjaitan 調整相による暫定的な兼務を経て、10月には前運輸相 Ignasius Jonan 氏の就任が発表された。
- 2016年7月、Tangguh LNG プロジェクトの拡張計画 (第3トレインの建設) について、最終投資決定 (FID) が実施された。2020年中の生産開始が予定されている。
- 2016年8月の財務相令「2016年第129号」により外国民間企業による製油所の投資・運営が解禁された。さらに、同年11月のエネルギー鉱物資源相令「2016年第35号」により民間投資家による単独での製油所の建設が解禁された。
- インドネシアは2016年11月30日に開催された OPEC 定時総会における減産合意へ参加せず、再び加盟資格を一時停止とした。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年の日本のインドネシアからのエネルギー輸入量は、LNG584.7万 ton (シェア 6.9%、第5位)、原油 434.9万 kl (シェア 2.2%、第7位、中東を除きシェア第2位)、石炭 3,263.2万 ton (シェア 17.1%、第2位) となっている。一方、インドネシアにとっても、日本は最大の原油輸出先となっている (2014年実績)。
- 2016年3月、大阪ガスは LNG 事業に関する技術協力について Pertamina と覚書を締結した。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Indonesia

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		226 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.89 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.24 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		203 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		436.5 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		1.72 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	16 %
	石油	33 %
	天然ガス	33 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	34 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-103 %
(9) 石油の輸入依存度		46 %
(10) 輸入原油の中東依存度		32.5 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア
	第2位	ナイジェリア
	第3位	アゼルバイジャン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10) : エネルギー鉱山省統計 (STATISTIK Minyak dan Gas Bumi 2015)

(11) : Countries analysis, October 2015, IEA